

★聴覚障害児への指導 … キーワードは **ことば**！

聴覚障害児は、聞き取りにくさなどから、ことば(日本語)そのものを知らなかったり、覚え間違ったりしていることがあります。

そのため、教科書の文中の言葉が分からないことや、文章題の意図を読み取りづらいことがあります。

○学年が上がるにつれて、難しい言葉や表記が増えるので、学習内容はより複雑になります。

子供たちの学習の様子为例

(算数)○計算問題や筆算は分かる！

●文章題の意図を読み取ることが難しく、立式することが難しいことがある。

(国語)○漢字はたくさん練習したから覚えた！

●□□字以内で記述しよう→どこを何と書けばいいのか悩むことがある。

【ことばの習得のために】

◎視覚情報、体験を大切に

教師は、子供たちが、言葉を当然知っているだろうと捉えるのではなく、言葉の意味を丁寧に確認し、説明や話を簡潔にします。

☆イラスト、写真(iPadや電子黒板)の活用

☆言語の動作化

☆簡単な言葉への置き換え

→ これまでの知識や体験と結び付ける。

◎日常生活での活用

学習した言葉は、作文や会話の中で可能な限り使い、子供が自分のものにできるよう指導を繰り返します。